

新庄コアカレッジ 自己評価報告書

1. 学校の教育目標

学生が輝き、地域に貢献する学校づくり。時代に合った、魅力ある学校づくり。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1) 資質向上のための学習支援
- (2) 学科新設・改編を生かした創造的な実践
- (3) 教育環境の整備・充実
- (4) 出口指導（就職・進学）の活力ある展開
- (5) 効果的な学生募集の展開
- (6) 地域交流、地域連携の拡大・深化

3. 評価項目の達成及び取組状況

- (1) 教育理念・目標 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	3.5
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.5
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.5

① 課題

- ・教育理念・目標について、時代の変化にマッチした見直しが必要。
- ・介護福祉科新設に伴う校名変更により、管内外への知名度アップ
- ・学生、保護者への周知方法の工夫。

② 今後の改善策

- ・本校の特色および地元就職における本校の強みについて地域および周辺部に周知させる広報活動が必要。
- ・教育理念、目標について学内に掲示する。

③ 特記事項

- ・教育目標や重点目標については、毎年見直しを図り、明確に設定している。
- ・「地域の人づくり、仕事づくり、街づくり」を教育理念として設立された本校（第3セクター）は、地域に根ざす地域の教育センターとして重要な位置を占めている。
- ・高校の先生方向けの学校説明会や後援会（保護者会）総会で、毎年学校の教育活動について具体的に説明している。
- ・オープンキャンパスに参加した高校生と保護者に教育理念や目標を伝えている。

(2) 学校運営 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.7
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.5
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.2
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.3
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.3
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.5
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.2

① 課題

- ・ 新学科設置による校務分掌組織図の見直しが必要。

② 今後の改善策

- ・ 情報公開内容の精査、追加、削除。
- ・ 地域や高校とのつながりを大切にする学校運営を行う。
- ・ フローチャート式の学校経営図を作る。

③ 特記事項

- ・ 教職員の就業および給与等に関する事項は就業規則に定めている。
- ・ 学校のホームページに教育活動の様子をきめ細かくアップして情報発信に努めている。
- ・ 学内LANによる効率的な教育活動を行っている。

(3) 教育活動 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.6
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3.7
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.4
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.6
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3.7
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.7
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.7
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4

・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3.3
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.0
・ 職員の能力開発のための研修等が行われている	2.8

① 課題

- ・ カリキュラムの内容について、業界動向をふまえることが必要。
- ・ 個々の教員の行う授業評価の実施について。
- ・ 職員研修の充実と予算化。
- ・ 業界の動向等をふまえたカリキュラム編成が必要。

② 今後の改善策

- ・ 教育課程編成委員会を通じて業界動向をカリキュラムに組み入れる。
- ・ 授業評価の実施、評価体制の確立。
- ・ 教員相互間での授業見学会などの開催。
- ・ 学生による授業評価の実施。

③ 特記事項

- ・ 各学科の目標とする資格や職種はパンフレットに明確に示している。

(4) 学修成果

(適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・ 就職率の向上が図られているか	3.7
・ 資格取得率の向上が図られているか	3.7
・ 退学率の低減が図られているか	3.7
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0

① 課題

- ・ 本校の学生のほとんどは、地元（山形県）就職志望である。
- ・ 業種および求人数の少ない県内での就職指導は、困難を極める。
- ・ 求人数が少ない中での地元就職希望者への100%ケア。

② 今後の改善策

- ・ 学生の志望する会社や業種に対する企業回り、求人掘り起こし。
- ・ 卒業生の状況を把握するため「近況報告」ハガキ等の活用。
- ・ 同窓会の活性化と同窓会名簿の整備

③ 特記事項

- ・ 資格取得者を校内に掲示するとともに、国家資格取得者については、校門前に掲示している。

(5) 学生支援

(適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
------	----

・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.4
・学生相談に関する体制は整備されているか	3.6
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.8
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.1
・学生の生活環境への支援は行われているか	3.1
・保護者と適切に連携しているか	3.7
・卒業生への支援体制はあるか	3.3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.5
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	2.9

① 課題

- ・地元協賛会組織の再編。
- ・少子化の中での学生の確保という観点に立てば、社会人を呼び込む努力が一層必要。

② 今後の改善策

- ・社会人を対象とする学生募集に力を入れる。
- ・リカレント教育としてのIT分野、介護分野のスキルアップ講座の拡充。
- ・就職先との連携。

③ 特記事項

- ・地元高校生のキャリア教育の一環としての学校訪問を受け入れている。
- ・後援会（学生の保護者会）を組織し、毎年6月に総会を実施するとともに、役員会を年3回実施し、学校教育活動への支援を実施している。
- ・毎年3月と8月に二者面談や三者面談を実施し、保護者との連携を密にとり、学生・保護者・学校が一体となり、退学率の低減に努めている。
- ・毎月の職員会議において、学生の出席状況等を把握し、早期に対応することを心がけている。

(6) 教育環境

(適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.5
・防災に対する体制は整備されているか	3.3

① 課題

- ・各学科における就職を踏まえた実習場所の選定と確保。
- ・医務室（保健室）の整備。

② 今後の改善策

- ・防災訓練を1年に1回実施する。

③ 特記事項

- ・財政上可能な限り、最新の機器の導入にこころがけている。
- ・インターンシップについては、平成15年度より取り組んでいる。

(7) 学生の受入れ募集 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3.4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.5
・学納金は妥当なものとなっているか	3.6

① 課題

- ・少子化のため、学生募集活動の努力に比べて、効果が上がっていない。
- ・費用対効果を考えた効果的な学生募集の展開。
- ・高校訪問の回数と時期。

② 今後の改善策

- ・細かい行き届いた教育指導が可能な小規模校の良さについての広報活動。
- ・学生納付金の見直し。
- ・高校に提供する情報の整理と、募集活動年間計画表の作成。

③ 特記事項

- ・最上広域8市町村との公設民営の専門学校であるので、学納金は他校より安く設定している。

(8) 財務 (適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.7
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.3
・財務について会計監査が適正に行われているか	4.0
・財務情報公開の体制整備はできているか	3.7

① 課題

- ・財務基盤安定のための自治体との連携方策について。
- ・公開内容および公開方法の体制整備。

② 今後の改善策

- ・安定的学校経営のための財源の確保。

③ 特記事項

- ・年2回税理士による会計監査が適正に行われている。
- ・年度当初予算の編成については、附帯教育事業によるところが大きい。
- ・自治体の支援と経営努力により、借入金はいわゆる少ない。

(9) 法令等の遵守

(適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.8
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.8
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4
・ 自己評価結果を公開しているか	3.9

① 課題

- ・ 個人情報保護および法令順守のための教職員の意識の統一。
- ・ 教職員がまだ自己評価に習熟しているとは言えない。
- ・ マイナンバー制度が2015年10月に導入されるが、こうした制度の下における個人情報保護の整備を行う必要がある。

② 今後の改善策

- ・ マイナンバー制度についての教職員への周知。

③ 特記事項

- ・ 法令等の遵守については、本校は法律専門の教員を抱えており、十分な精査が行われている。
- ・ 自己評価結果については、平成26年度から実施し、公開している。

(10) 社会貢献・地域貢献

(適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1)

評価項目	評価
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4.0

① 課題

- ・ 学生は、学校での年間スケジュールだけでも忙しく、現在のところ、学校が学生に対し、ボランティア活動の奨励・支援を行うことには積極的ではなかった。

② 今後の改善策

- ・ 休日の早朝の1・2時間程度を利用した地域の清掃活動、少年スポーツチームや中学校の部活のコーチ補助者などのボランティア活動など、各学生の個人的状況にあったボランティア活動の奨励も教育上必要かと思う。
- ・ ボランティア活動は、就職試験においても重視する企業もあるので、ボランティア活動の重要性について指導する必要がある。

③ 特記事項

- ・ 本校の学生は、ボランティア活動として年2回の校外清掃活動を行っている。
- ・ 介護福祉科については、社会福祉協議会などと連携し、積極的にボランティア活動を展開している。